

シンポジウム：「御嶽山・箱根山・草津白根山ー水蒸気噴火および防災と観光ー」

プログラムおよび開催要領

1. 趣旨文

2014年に発生した御嶽山の噴火では、登山を楽しんでいた人が巻き込まれ、58名の尊い命が奪われ、今なお5名の方が行方不明です。悲しみに打ちひしがれた思いは、癒えることはございません。

火山の活動によって、私たち人間は自然の猛威にさらされ、被害を受けることが生じることがあります。その一方で、火山の景色は訪れた人々を和ませてくれます。また火山周辺域では、その火山の恵みによって地域社会が育まれています。したがって活火山を抱えた地元は、火山の恵みと脅威の両方を受け入れ、火山と向き合って生活を営む必要があります。

特に、水蒸気噴火は火山噴火としての規模は小さく、御嶽山域では周辺住居への影響は少ないものの、噴火により登山者客や観光客などが直接脅威にさらされ、周辺の観光産業への影響も無視できません。そこで、近年水蒸気噴火を起こした御嶽山、箱根山および草津白根山（本白根山）について、学術的に水蒸気噴火のメカニズムを深く掘り下げるシンポジウムと、各地域で生活される方を対象として観光と防災について考えるシンポジウムを開催します。初日はシンポジウム「水蒸気噴火のメカニズム」として専門家による議論を行い、2日目は一般向けのシンポジウム「噴火への備えー観光と防災ー」として、安全に火山を楽しんでもらい地域振興にも貢献する方策について議論します。

2. 日程と参加方法および会場

水蒸気噴火に関するシンポジウム：

12月16日（金）13時～18時05分 木曽町文化交流センター多目的ホール

活火山の防災と観光に関するシンポジウム：

12月17日（土）9時20分～15時35分 木曽町文化交流センター多目的ホール

参加登録制

以下のリンクまたは右のQRコードから申し込みください。

<https://forms.office.com/r/8xcyPeLzvc>

申込締切：12月12日（月）正午まで

会場 木曽町文化交流センター多目的ホール



※休憩・食堂の情報：12月17日（土）は、館内大会議室を休憩室として開放します。ご持参頂いた弁当等は、休憩室でお取りください。会場付近には、食堂が幾つかあります。またイオンとセブンイレブンが、それぞれ会場から徒歩10分および13分にあります。会場周辺の地図を最終頁に掲載します。

3. 主催・後援

主催

御嶽山・箱根山・草津白根山ー水蒸気噴火および防災と観光ーシンポジウム実行委員会
(名古屋大学大学院環境学研究科附属地震火山研究センター・東京工業大学理学院火山流体研究センター・木曽町・王滝村・御嶽山火山防災協議会(長野県))

後援

長野県・長野県上松町・日本火山学会・地震火山噴火予知研究協議会・防災科学技術研究所・神奈川県温泉地学研究所・御嶽山火山マイスターネットワーク

4. プログラム

第1日(午後)：水蒸気噴火に関する学術シンポジウム

- ・ホスト：名古屋大学・山岡耕春
- ・コンビーナー(座長)：神奈川県温泉地学研究所・萬年一剛、東京工業大学・寺田暁彦
- ・総合討論司会：北海道大学・橋本武志

プログラム

- 13:00 水蒸気噴火の論点(趣旨説明) (名古屋大学・山岡耕春：15分)
- 13:15 箱根山の地下構造と水蒸気噴火
(神奈川県温泉地学研究所・萬年一剛：50分+質疑応答10分)
- 14:15 休憩(5分)
- 14:20 草津白根山の地下構造と水蒸気噴火
(東京工業大学・寺田暁彦：50分+質疑応答10分)
- 15:20 休憩(10分)
- 15:30 御嶽山の噴火史と水蒸気噴火
(産業技術総合研究所・及川輝樹：30分+質疑応答5分)
- 16:05 御嶽山の地震波速度構造と2022年群発地震活動
(名古屋大学・前田裕太：30分+質疑応答5分)
- 16:40 御嶽山の電磁気探査 (名古屋大学・市原寛：30分+質疑応答5分)
- 17:15 御嶽山の火山監視能力の向上 (気象庁・菅野智之：15分+質疑応答5分)
- 17:35 水蒸気噴火に関する総合討論(30分)
司会：北海道大学・橋本武志
論点：御嶽山と箱根山と草津白根山の地下構造と噴火過程と課題、御嶽山への提言

第2日（9：20～15：35）：御嶽山・箱根山・草津白根山の防災と観光

登山客・観光客・住民への人的被害および観光地の経済的被害の軽減を目的とした取組みを紹介し、登山地や観光地における防災対策の今後の課題を明らかにする。

司会者：丸山徳子（御嶽山火山防災協議会）

● **開会の挨拶 9:20～（10分）**

趣旨説明（御嶽山火山防災協議会 長野県幹事長・兵藤裕一：5分）

開会の辞、主催者挨拶（木曾町長・原久仁男：2分）

● **御嶽山城の講演**

① **御嶽山とはどのような山なのか 9:30～（45分）**

御嶽山の魅力と課題（一般社団法人：おんたけ観光局専務・丸山文広：20分）

御嶽山火山マイスターの活動から：登山者の意識調査

（御嶽山火山マイスター・小林夏樹：20分）

質疑応答（5分）

② **登山者に対する安全対策の新しい取り組み 10:15～（60分）**

登山者に対する王滝村・木曾町の安全対策の取り組み（木曾町・野田智彦：10分）

登山者参加型避難訓練：ビーコンを使用した登山者動態の把握

（防災科学技術研究所・宮城洋介：15分）

登山者参加型避難訓練：アンケートに基づく登山者行動の把握

（名古屋大・金幸隆：15分）

火山防災教育：噴火を想定したタイムライン授業（木曾町・野田智彦：15分）

質疑応答（5分）

休憩 11：15～（10分）

● **箱根山城の講演（11：25～12：15）**

③ **箱根町における防災と観光の取組と課題 11:25～（50分）**

観光地における火山監視と防災（神奈川県温泉地学研究所・萬年一剛：15分）

箱根山火山活動における観光産業と火山防災（箱根銀かつ・田村洋一：15分）

箱根町の取り組む「観光地の防災」について～令和元年の火山対応より～

（箱根町・菊島信洋：15分）

質疑応答（5分）

昼食 12：15～（55分）

● 草津白根山城の講演（13：10～14：00）

④ 草津町における防災と観光の取組と課題 13：10～（50分）

火山災害の観点から考える草津白根山の特徴（東京工業大学・寺田暁彦：10分）

基調講演：草津町の観光行政と火山防災（草津町長・黒岩信忠：35分）

質疑応答（5分）

14：00～ 休憩（5分）

⑤ 基調講演 14：05～14：50

噴火による社会経済的影響とリスクコミュニケーション（山梨大・秦 康範：40分）

質疑応答（5分）

⑥ 総合討論（司会者：金） 14：50～15：30（40分）

木曾町 総務課危機管理室長・吉田好則：2分

王滝村 総務課長・橋本悟志：2分

⑦ 閉会の挨拶 15：30～15：35

王滝村 吉田英司 教育長

会場周辺地図

- ・イオンまで徒歩10分
- ・セブンイレブン徒歩13分

帰りの列車

塩尻・長野方面：

16：25 発 しなの17号

名古屋方面：

16：31 発 しなの18号

